

小学六年

適性検査 D

解答と解説

1

問題5	問題4	問題3	問題2	問題1
1	3	2	3	1
○				
2				
×				
3				
×				
4				
○				

2

【例】	問題2【例】	問題1	問題6	【例】	問題5
筆者	べら	ウ	とが	する	1
は、	れな	・	ため	か	○
ス	く	オ	活し	ら	2
マ	て		保つ	か	×
ホ	も		るこ	ら	3
に	ど		と	機	×
は	か		き	会	3
わ	し		る人	を	1
か	く		と暮	を	2
ら	感		かし	合	×
な	じ		うし	わ	3
い	る		。の	せ	×
こ	こ		高	て	4
と	と		齡	こ	○
を	。簡		者	い	
す	単		の	ば	
ぐ	に		孤	人	
	調		立	と	
			化	の	
			を	思	
			防	な	
			ぐ	が	
			こ	。運	
			こ	動	
			こ	を	

150

120 100 20

40 20

20

問題3

と	に	人	い		ン	て	そ		こ	S	た	潜	め	一	を	に
思	心	と	時	だ	環	し	れ	わ	と	N	ら	在	ぐ	方	抱	調
い	が	積	間	か	境	ま	ほ	た	が	S	手	化	っ	で	け	べ
ま	け	極	を	ら	を	い	ど	し	デ	で	放	や	て	、	る	ら
す	る	的	少	、	悪	、	必	は	メ	常	せ	陰	親	ス	メ	れ
。	対	に	し	一	く	目	要	、	リ	に	な	湿	子	マ	リ	、
	応	コ	で	日	す	の	で	ス	ツ	つ	く	化	関	ホ	ツ	居
	を	ミ	も	の	る	前	な	マ	ト	な	な	に	係	の	ト	合
	す	ユ	作	中	お	の	く	ホ	に	が	っ	つ	が	購	が	わ
	る	ニ	り	で	そ	人	て	が	な	る	て	な	悪	入	あ	せ
350	の	ケ	、	ス	れ	と	も	あ	る	こ	依	が	く	、	る	た
	が	ー	そ	マ	が	の	つ	ま	と	と	存	っ	な	買	と	人
	良	シ	の	ホ	あ	コ	い	り	説	で	症	た	っ	っ	説	が
	い	ヨ	状	を	る	ミ	さ	に	明	窮	に	り	た	た	明	共
	の	ン	態	手	と	ユ	わ	便	し	屈	な	し	り	後	し	通
	で	を	で	元	思	ニ	り	利	て	さ	り	、	、	の	て	の
	は	と	家	に	い	ケ	た	な	い	を	や	一	い	使	い	イ
	な	る	族	置	ま	ー	く	た	ま	感	す	度	じ	い	ま	メ
	い	よ	や	か	す	シ	な	め	す	じ	く	持	め	方	す	ー
	か	う	友	な	。	ヨ	っ	、	。	る	、	っ	の	を	。	ジ
			300					200					100			

(配点)

① 問題 1～問題 4……各 3 点 問題 5……各 2 点 問題 6……18 点

② 問題 1 (順不同・完全解答)……4 点 問題 2……8 点 問題 3……50 点

計100点

【解説】

1 神奈川県大和市の「おひとりさま施策」をテーマにした問題

問題 1 B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 比較

【資料 2】、【資料 3】の内容を読み取って答える問題です。

【資料 2】から、全国の高齢化率とおひとりさま世帯率はいずれも増加し続けると予想されます。【資料 3】から、大和市の高齢化率はほぼ変化していないものの、おひとりさま世帯率については年々増加していることがわかります。また、全国と大和市を比べると、2023年のおひとりさま世帯率は全国が約35%、大和市が約42%で、大和市の方が高いことがわかります。よって選択肢1が正しい解答となります。

問題 2 B1 情報を獲得する 置き換え 比較

【資料 4】を参考に、【会話 2】中の①にあてはまる内容を選ぶ問題です。

【資料 4】によると、「現在どのような活動に参加していますか。」という質問に対しては「特に参加していない」と答えている割合が最も高く、「日中は、どなたと過ごすことが多いですか。」という質問に対して「ひとりで過ごす」と答えている割合が最も高いので、3が正しい内容です。

問題 3 B1 情報を獲得する 関係づけ 比較

【資料 5】から読み取れることに合う内容を選ぶ問題です。

1 【資料 5】の項目のうち、回答が100をこえているのは「ウォーキング」「映画鑑賞」「スマートフォンの使い方講座」の3つのみなので、誤った内容です。

2 【資料 5】の項目のうち最も少ない「ボランティア」は59、最も多い「映画鑑賞」は205なので、正しい内容です。

3 【資料 5】の項目のうち最も少ない「ボランティア」の4倍は236となるので、最も多い「映画鑑賞」よりも多くなるため、誤った内容です。

4 【資料 5】の項目のうち3番目に多いのは「スマートフォンの使い方講座」で181、4番目に多いのは「カラオケ大会」で87となり、その差は10以上のため、誤った内容です。

問題 4 B1 置き換え 関係づけ 比較

【資料 6】中の空らんに入るグラフと言葉の組み合わせを選ぶ問題です。

P:Pは、「資料 6」の「現在、お仕事をしていますか。」の質問に対して「している」と答えた人に関連する内容となるので、現在仕事をしている人に対する質問である「仕事は何歳まで続けたいですか。」のグラフがあてはまります。

X:「人とコミュニケーションする際にお使いの通信機器を教えてください。」という質問に対して最も回答が多かったものがあてはまります。選択肢のうち、固定電話やFAXは携帯電話やスマートフォンが世の中に広まったことで使用される回数が減ったため、Xには「携帯電話・スマートフォン」、Yには「固定電話・FAX」があてはまります。

問題 5 B1 情報を獲得する 置き換え 関係づけ

【資料 7】とその内容を説明した文の正誤を読み取る問題です。

1 【資料7】の3行目に、「自分の人生の終わりをどのように迎えるのか……人それぞれに異なります。」と書かれていることから、正しい内容です。

2 【資料7】の5行目に「かつては、家族や地域のつながりが大きく、……」とありますが、その後「しかし、長寿化、核家族化といった社会構造の変化等により……」とあることから、現在は家族や地域のつながりが小さくなっていると考えられます。そのため、誤った内容です。

3 【資料7】の8行目に、「……エンディングに対する考え方は多様化しています。」とあることから、さまざまな考え方が生まれていることがわかります。そのため、誤った内容です。

4 【資料7】の10～11行目に、「その不安は……少しずつ軽減していくことができます。」とあることから、正しい内容です。

問題6 C1 理由 具体・抽象 比較

大和市のおひとりさま施策の内容を通して、県や市町村のよいうな公共機関ではなく、地域社会ができることについて【条件】にしたがって説明する問題です。

これまでの【会話】や【資料】の内容のうち、「本来は地域社会で行うことができる（または行われていた）」ことを考える必要があります。地域社会とは市町村といった集団よりも小規模なもので、近所づきあいなどがそれにあたると言えます。本来、おひとりさまの孤立を防ぐためには地域社会のつながりが重要であるため、その役割や効果について考えましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

内容等について（9点）

字数制限を満たした上で、左記のような視点で採点します。誤り1か所につき、3点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

公共機関の支援を受けずに地域社会ができることが書かれているかどうか

地域社会でできることが、どのような効果をもたらすことが期待できるかが書かれているかどうか

内容に過不足がないか

文や文章の論理構成、一文が途中で終わっていないか

同内容の不必要な反復がないか

形式等について（5点）

内容等が0点でない場合、左記のような視点で採点します。

誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

誤字や脱字がないか

文法的な誤りがないか

語句や言葉の使い方に誤りがないか

常体、敬体の混在がないか

不適切な話し言葉の使用がないか

消し残りなどで字が見づらくないか

マス目の使い方・構成について（4点）

左記のような視点で採点します。誤り1か所につき、2点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

問題の条件で指定されたマス目の使い方に誤りがないか

② 自分の意見を記述する問題

問題 1 B1 情報を獲得する 比較 関係つけ

ア 第三段落から一つ目の（中略）まででスマホの「プラスの側面」が語られています。スマホのない昭和の時代に自分で調べなければならなかったことはマイナスのこととして語られていますから、正しくありません。

イ 七ページの上段の「スマホは本当に便利です」とあるので前半は正しいですが、後半の「情報が正確でないおそれがある」は本文中に対応するような表現がないので正しくありません。

ウ 一つ目の（中略）の後でスマホを持つことに関する親子のバトルについて説明されています。この内容と照らし合わせると、ウの内容は正しいといえます。

エ 家族とのやり取りに関する内容は 8 ページの上段の「夜 8 時か 9 時」で始まる段落に書かれています。ただし、ここで述べられているのは、家電は家族全員が集まる場所に置かれるケースが多く、友人との会話が家族にほぼ筒抜けになるという話です。家族間の会話については特に触れられていませんので、エは正しいとは言えません。

オ 8 ページの上段に、筆者が中高生時代の通信手段について「『家電』と言われる固定電話しかなかった」ことが説明されています。次の段落にまたがって、「たいてい本人以外が電話に出ます」「夜 8 時か 9 時くらいまでが電話できませんでした」「会話の内容が、ほぼ筒抜けです」と、気軽に連絡を取り合うわけにはいかなかった理由が列挙されています。したがって、オの内容は正しいといえます。

問題 2 B1 情報を獲得する 置き換え 関係つけ

傍線部の次の段落の冒頭に「例えば」という接続詞があり、「以前は、よくあったコミュニケーションでのモヤモヤ」の具体例が説明されていることがわかります。会話の中で固有名詞が思いつかない場合、現在はスマホでキーワード検索をすればすぐわかるのですが、昭和の時代は誰かに訊いて回るか図書館で調べなければならなかった、と書かれています。設問の「以前」はスマホがなかった時代、つまり本文では「昭和の時代」を指していますから、この部分をまとめましょう。傍線部末尾に合わせて、解答の末尾が「モヤモヤ」の直接的な説明になるようにまとめましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

内容等について（4点）

字数制限を満たした上で、左記のような視点で採点します。誤り 1 か所につき、2 点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

・ 現在ではスマホで解決可能だが、昭和のスマホがない時代には解決できなかった問題を説明できているか

・ 書かれた内容に過不足がないか

・ 文や文章の論理構成、一文が途中で終わっていないか

・ 同内容の不必要な反復がないか

形式等について（2点）

内容等が 0 点でない場合、左記のような視点で採点します。誤り 1 か所につき、1 点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・ 誤字や脱字がないか

- ・ 文法的な誤りがないか
 - ・ 語句や言葉の使い方、誤りがないか
 - ・ 常体、敬体の混在がないか
 - ・ 不適切な話し言葉の使用がないか
 - ・ 消し残りなどで字が見づらくないか
- マス目の使い方・構成について (2点)

内容等が0点でない場合、左記のような視点で採点します。誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・ 指定されたマス目の使い方、書かれているか
- ・ 指定された字数で書かれているか

問題3

C2

理由 置き換え

推論

スマホがコミュニケーション環境に与える影響について、あなたの意見を述べる問題です。

第一段落では、文章から筆者の述べているスマホのメリットとデメリットを拾い上げ、まとめます。スマホのメリットについては、7ページ上段「そんな私が率直に感じるのは、スマホは本当に便利です」という部分から一つの目の(中略)までに書かれています。デメリットについては、一つの目の(中略)以降に書かれています。具体と抽象の内容に分けて、抽象の内容を抜き出すようにするとまとめやすくなります。

第二段落では、スマホがコミュニケーション環境に与える影響について、あなたの考えをまとめます。具体的に、どのような場面でどのような影響があるかを書きましょう。自分の考えを具体的に書くとき、その考えを読んだ人がわかりやすい説明になっている必要があります。客観的に見直すには、一度書き

たものを読み直す方法が挙げられます。

第三段落では、第二段落で述べた内容にどう対応すべきかを書きます。

文章を読んで自分の意見を記述する問題では、「文章で述べられている筆者の意見」「筆者の意見に対する自分の立場」「自分がそのような立場をとる理由」をそれぞれ盛りこんで書くよう心がけましょう。もともと文章がない場合でも、自分の意見とその理由をセットにして書くことで、より説得力のある表現にすることができます。

※以下のポイントを中心に見ます。

内容等について (30点)

字数制限を満たした上で、左記のような視点で採点します。誤り1か所につき、5点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・ 第一段落
 - 筆者の述べるスマホのメリットとデメリットがそれぞれまとめられているか
 - 第二段落
 - スマホがコミュニケーション環境に与える影響について、自分の意見を明確に書いているか
 - 第三段落
 - 第二段落で述べたことについて、どう対応すべきか書かれているか
- ・ それぞれの段落に書かれた内容に過不足がないか
- ・ 文や文章の論理構成、一文が途中で終わっていないか
- ・ 同内容の不必要な反復がないか

形式等について（10点）

内容等が0点でない場合、左記のような視点で採点します。誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・ 誤字や脱字がないか
- ・ 文法的な誤りがないか
- ・ 語句や言葉の使い方、誤りがないか
- ・ 常体、敬体の混在がないか
- ・ 不適切な話し言葉の使用がないか
- ・ 消し残りなどで字が見づらくないか

原稿用紙の使い方・構成について（10点）

内容等が0点でない場合、左記のような視点で採点します。誤り1か所につき、2点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・ 原稿用紙の使い方、誤りがないか
- ・ 指定された段落数で書かれているか
- ・ 指定された字数で書かれているか

*300字未満の場合、一行不足（261字〜299字まで書かれている答案）のみ、「原稿用紙の使い方・構成について」を0点として、「内容等について」「形式等について」を採点します。